

I 計画の前提

- 1 計画の意義と役割
- 2 計画の期間と対象
- 3 将来指標（人口・世帯数）

1 計画の意義と役割

この基本計画は、基本構想に掲げるめざすまちの姿

豊かな自然と歴史・文化に恵まれ、あたたかいふれあいに満ちた地域の中で、お互いに支え合いながら心豊かで幸せな暮らしが営まれ、災害に強くだれもが安心して暮らせるまち。

そして、市民一人ひとりが、自分たちが暮らすまちに誇りを持ち、夢や希望を抱いて、いきいきと多様な生活を楽しんでいるまち。

そのような、市民が住み続けたい、だれもが住んでみたくなる、訪れたいまち、「上質な生活都市」。

を実現するための具体的な取組を体系化し、その取組を計画的に進めていくためのものです。

めざすまちの姿を実現するために、市民（地域団体、民間事業者、NPOなどを含む。）と行政が、それぞれの役割と責任を担いながら、まちづくりに取り組んでいきます。

2 計画の期間と対象

(1) 計画期間

本計画は、令和5年度（2023年度）を目標年次とし、中間年にあたる令和元年度（2019年度）に全体的に見直しました。

(2) 対象区域

現行（平成28年4月1日現在）の市域を基本とし、必要に応じて広域的な対応を図ります。

(3) 実施主体

本計画は、市が主な実施主体となるほか、市民（地域団体、民間事業者、NPOなどを含む。）と行政が相互に連携しながら実施していきます。

3 将来指標（人口・世帯数）

（単位：人、%、世帯）

項目		年			
		2010 (H22)	2015 (H27)	2019 (R1)	2023 (R5)
総人口 (伸び率)		734,474	740,822	739,393 (-0.2)	734,000 (-0.7)
年齢 3区 分別	0～14歳 [年少人口] (構成比)	105,410 (14.5)	103,433 (14.1)	101,706 (13.8)	99,000 (13.5)
	15～64歳 [生産年齢人口] (構成比)	468,350 (64.5)	452,822 (61.7)	444,339 (60.1)	432,000 (58.9)
	65歳以上 [老年人口] (構成比)	152,435 (21.0)	177,325 (24.2)	193,348 (26.1)	203,000 (27.7)
総世帯数		302,413	315,456	327,280	323,000
1世帯当たり人員		2.43	2.35	2.26	2.27

資料：2010（H22）年、2015（H27）年は、国勢調査。

（注）総人口は、年齢不詳（2010（H22）年は8,279人、2015（H27）年は7,242人）を含む。構成比の算出にあたっては、総数から年齢不詳を除外している。

2019（R1）年は、「令和元年（2019年）版 熊本県推計人口調査結果報告（年報）」。
2023（R5）は、「熊本市人口ビジョン」で示された現状維持ベースの推計値及び「日本の世帯数の将来推計（都道府県別推計）」（2014年4月推計）を基に算出。

（注）2023（R5）年の構成比は四捨五入のため、合計しても100とはならない。
伸び率は、対前年比で算出している。

